

# 教育委員会執行事務の点検と評価

平成27年度

平成28年8月

智頭町教育委員会

# 目 次

1. はじめに	… P 1
2. 平成26年度の主要事業・評価・主な取り組み状況・課題問題点	… P 2～P 21
3. 教育委員会の活動状況	
1) 教育委員の在任状況	… P 22
2) 教育委員会の会議の状況	… P 23
4. 附属機関の開催状況	… P 24
5. 参考資料	… P 25

## 1. はじめに

教育委員会では、今後の課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るため、教育委員会の事務・事業の点検・評価を行いました。

### 趣 旨

平成20年4月に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、新たに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行ない、議会に提出するとともに、公表しなければならない。」旨が規定されました。

これに基づき、智頭町教育委員会では、平成19年度から具体的な施策や主要な事業について、点検及び評価を実施することとしました。

今後の課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、教育行政施策の効果的な推進を図りたいと考えています。

### 実施方法

智頭町教育ビジョン及び智頭町子ども子育て支援事業計画に基づく前年度の具体的な施策及び主要事業を対象として、年1回の点検及び評価を実施しました。

点検及び評価は、前年度の事業等の実施状況を報告するとともに、課題や今後の取り組みの方向性を示すものとし、町教育委員会において点検及び評価を実施しました。

点検及び評価を行なった後、その結果を取りまとめた事業評価書を智頭町議会へ提出するとともに、公表することとします。

### 根拠法令

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和31年法律第162号）第27条（一部省略）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行ない、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

教育委員会は、前項の点検及び評価を行なうに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 評価の基準

◎ (順調)	優れた取組や状況が見られ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。
○ (概ね順調)	よい取組や状況が見られ、若干の課題はあるが、概ね順調に目標が達成された。
△ (やや順調でない)	課題が少なからずあり、目標達成がやや順調でないもの、又は一定の成果はあったが新たな課題が生じたもの。
× (順調でない)	課題が多く、まだ改善に向けた取組に着手できていないか、着手してもほとんど成果がないなど、目標がほとんど達成できなかったもの。

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《次世代育成事業》</p> <p>子育て支援センターの運営充実</p>	<p>子育て環境づくりを進め、子育て支援センターの運営を充実します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*子育て講演会の開催</li> <li>*講座の開催</li> <li>*子育て相談</li> <li>*子育てサークルの育成</li> <li>*父親の子育て参加を促進</li> </ul>	<p>○</p>	<p>*月曜日から金曜日まで毎日開所し、ゆったりと穏やかに過ごせる環境づくりに努めました。「癒される場」と保護者からの声も聞かれました。(年間延べ3,714名の利用者)</p> <p>*月1回「土曜開所」を行い、休日でも親子がゆっくりと過ごせる場所づくりをしました。また父親の育児参加がしやすい環境づくりに努めました。父親の利用は少なく年間12名となっています。(母親の利用年92名)</p> <p>*子育てサークルの育成に向けて、保護者主体の活動を実施し、子育て仲間同士のつながりが深まり、自主運営のイベントの開催ができました。</p>	<p>*休日の開所を、イベント的な取り組みと併せて行い、父親の参加・利用をより一層推進します。また、父親が参加しやすい環境づくりに努めるとともに、開所を多くの利用者に周知する工夫もします。</p> <p>*異年齢児が集う場所ですが、年齢にあった環境づくりが不十分です。工夫をしながらどの年齢の子どもたちも楽しめる場所づくりを行います。</p> <p>*自然や季節感を取り入れた遊びも工夫をします。</p> <p>*保護者の子育てや自分自身の悩み相談に的確に答えたり悩みに寄り添う関係作りを行います。</p> <p>*子どもたちの発達や遊び・環境について職員の研究を行います。</p>
<p>ファミリーサポートセンター推進事業</p>	<p>会員の増加、利用件数の促進、働く人のサポートのため、利用しやすいシステムづくりの構築を図ります。</p>	<p>○</p>	<p>*保育園・塾への送迎が最も多い支援でしたが、食事つきの利用が増え働くお母さんの支援の必要性を感じました。(夕食等が保育園の給食と重ならないよう保育園との連携も行いました。年間利用件数161件・会員数159名(依頼会員107名・支援会員45名・両方会員7名)</p> <p>*会員研修4回を計画しましたが参加者は少なく内容・周知の方法に工夫が必要です。</p>	<p>*会員の整理をし会員数は減りましたが、支援内容に適した人材のコーディネートをしていきます。そのためにも支援会員の勧誘を行っていただきます。</p> <p>*利用会員には子ども様子を事前に記入してもらっていますが、利用の有無に関わらず毎年更新してもらおうように周知します。</p> <p>*会員研修を周知し参加を呼びかけると共に、適切な支援が行なえるようにします。</p>

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>放課後児童クラブの設置運営</p>	<p>保護者の仕事と子育ての両立支援や、放課後児童の自主的生活の場と居場所づくり及び、少子化によって失われた子どもたちが群れる場所を提供します。</p>	<p>○</p>	<p>*各児童クラブ保護者会（4回） *指導員研修会（2回） *クッキング、映画会、クリスマス会、老人クラブとの交流会、6年生を送る会の実施 *特別支援教育コーディネーターを招いて子どもの様子を話し合い、支援の仕方や子どもとのかかわり方など、指導員同士の共通理解を図りました。 *智頭と土師での環境の違いが大きく、智頭放課後児童クラブの子どもの遊ぶ形態に指導員の苦労がうかがえます。子どもたちの居場所づくり（安心できる生活の場）の工夫に心がけました。 ※智頭放課後児童クラブは、夏休み中、小学校（教材室）と現児童クラブの2か所で開設し、ゆったり過ごせるようにしました。 【登録児童数】H27.08.01時点 智頭：71人 土師：53人</p>	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <p>*智頭放課後児童クラブの施設が狭く十分な活動スペースがないため、環境の整備（施設確保）が課題です。 *保護者の協力意識が低いため、保護者への働きかけの強化が必要です。 *児童の安全確保のため、指導員の養成が必要です。 *夏休み等長期休業中は、利用したい児童が増え、指導員の確保が例年の課題です。 *支援を必要とする児童も増えてきているので、指導員の子ども理解が必要です。その為には今後子どもを語る時間の保障や、小学校との連携強化、研修の充実が必要です。</p>

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
高児支援家庭訪問事業	未就園児家庭の訪問等を通じて、育児支援が必要な家庭に対し、子育て経験者等による育児相談、家庭援助を行います。	○	*未就園児の全家庭を訪問し、養育支援を行いました。 *家庭訪問回数60回（内赤ちゃん訪問33家庭） *町の支援・施策についての紹介や子育て情報を提供しました。	*子育て不安のある家庭に対し、支援の方法について関係者（保健師・医療関係・支援センター等）と連携を強化します。 *乳児健診や離乳食講習会を利用して子育て支援センターへの利用を促し、孤獨な子育てにならないよう配慮します。
家庭支援推進保育	就学前までの育ちや見通しを立て、児童の健全な発育を目指します。	△	*懇談会や研修を計画し、担任保育士や特別支援教育コーディネーター等と連携をとりながら、発達支援・保護者支援を行いました。 *家庭訪問などの実施ができませんでした。	家庭支援推進保育士は、重要な職務ですが、兼務なので家庭の中に入り込んで支援することが難しい状況にあります。
森のようちえん事業	鳥取県の認証を受け、豊かな森林を活用して自然環境を中心とした自然保育の中で、幼児期の健やかな育成を進めている森のようちえん事業を支援します。	○	*児童1人当たりの月額単価により、まるたんぼうとすざびづくりに支援しました。	*森のようちえんとの連携を図り、問い合わせなどにスムーズな対応ができるよう努めます。

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>3. 4. 5才児の保育事業                      諏訪保育園</p>	<p>児童福祉法第39条の規定に基づき、園児の最善の利益を考慮し、健全な心身の発達及び保護者の就労を保障します。</p>	<p>○</p>	<p>以下の職員を配置し実施しました。                      3才児42名 担当保育士3名 補佐1名                      4才児40名 担当保育士2名 補佐1名                      5才児39名 担当保育士2名 補佐2名</p>	<p>*保護者アンケート(110家庭中70家庭の回答)による園評価の結果はおおむね良好でした。総合評価では、とてもよかった・よかったが85%、悪かった・とても悪かったは1%でした。保育方針・保育目標・めざす子ども像の保育士への周知は、概ねできていたと思いますが、自己評価では保育力の向上などの課題も多いです。                      *保護者の理解と協力・職員の連携により保育内容を創造していくことが課題です。</p>
	<p>子どもたちの持っている力を活かしながら、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う環境を整え、養護と教育を一体的に行います。</p>	<p>○</p>	<p>*保育にかかわる専門職(保育士・調理員)が協力し、専門性を発揮しながら、養護と教育の一体的な展開を図り、質の高い保育が推進できるように、年間研修計画をだてて園内研修を充実させたり、専門性を高める研修会に積極的に参加して、臨時保育士を含め各々の資質向上に努めました。                      *保育課程、年齢に適した保育計画・食育計画のもとに、主体的な発達要求に応答する環境を豊かに整え、保育の資質向上を図り、発達課程に応じた保育の充実に努めました。</p>	<p>*あらゆる研修情報を提供すると同時に、資質向上の機会を作り研修を積み重ねました。外部研修会には、時間的に参加が難しいこともありましたが、研修会を準備することが課題です。また、給食試食会やおやつレストランを計画的に実施し、保護者・子ども共に食育に対する関心を高め、年間計画をもとに保育・食育を充実させることもできました。                      *専門性を高める研修会に積極的に参加し、研修を積むようにはしてききましたが、研修したこと量が十分に活かされておらず、思うこともありません。個人差もありますが、意識のレベルアップや保育に対する感覚を磨く事が課題です。</p>
<p>*家庭・地域とも連携しながら、小学校への望ましい接続を図ります。</p>	<p>◎</p>	<p>*小学校との交流・連携を図りながら、入学への望ましいアプローチに努めました。アプローチカリキュラムを作成し、就学を意識した保育活動を実施しました。                      *保育園・小学校の連絡会を開催し、育ちと学びをつなぐ接続を図りました。特に、特別に支援を必要とする児童に対しては、小学校・保育園・保護者が、きめ細かく情報を共有し、共通理解に努めました。                      *保育を公開する機会を設け、小学校及び家庭の理解を得ると同時に、地域の要請に応じて交流を深めました。</p>	<p>小学校との交流・連携を図るとともに、情報共有をしていきますが、就学後、不応対とみられる姿の報告もあり、後半は、学校生活への適応を意識しながら保育活動を実践していく必要があると思われま。</p>	



平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>諏訪保育園 家庭支援事業</p>	<p>*保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮しながら、望ましい子育てを支援します。</p>	<p>○</p>	<p>*同和保育を理解し、人権意識を高める職員研修を実施しました。 *園児一人ひとりの生活とその背景の把握に努め、保護者の思いにより添った信頼関係の構築、育児支援の推進を目指しました。</p>	<p>*全職員対象の同和問題研修会を計画的に実施し、原点到り返り研修しました。 *年1回のクラス懇談のほか、個人懇談は年2回実施し、随時園だより・学年だよりで保護者理解と協力を求めながら、必要に応じ家庭訪問を実施しました。保護者の思いに寄り添い、信頼関係を深めていくことが課題です。</p>
	<p>*一人ひとりの全面発達を保障します。</p>	<p>○</p>	<p>*職員間の共通理解を図り、家庭とも連携しながら、必要な支援・発達を促す有効な保育内容を創造して実施しました。 *発達に関する研修と実践を重ねながら、専門機関と連携し、支援を展開しました。</p>	<p>*集団に適応し難しい園児が安定して過ごせるよう智頭町特別支援教育コーディネーターの支援をうけながら、園内全体で取り組みました。定期的な指導助言を受けながら保育実践を重ねたことで、子ども達が安定して集団生活を送ることができました。今後、個々の実態に合わせた定期的な指導助言が必要でです。</p>
<p>諏訪保育園 一時預かり事業</p>	<p>*智頭町在住の保護者の要請に応え、未就園の3～5才児を一時的に預かり、子育て負担の軽減を図るなど育児を支援します。</p>	<p>○</p>	<p>*専任の職員配置はありませんが、同年齢のクラスで受け入れて実施しました。 *一時的であっても受け入れクラスを固定化したことで、より安心して利用してもらえました。</p>	<p>年少男児2名 10・2月 延べ 6日間 年少女児 1名 7・8月 延べ 5日間 計 3名 延べ11日間の利用がありました。</p>

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>あたご保育園 0.1.2歳児の保育事業</p>	<p>*児童福祉法第39条の規定に基づき、園児の最善の利益を考慮し、健全な心身の発達及び保護者の就労を保障します。</p> <p>*子どもたちの持っている力を活かしながら、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う環境を整え、養護と教育を一体的に行います。</p> <p>*保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、望ましい子育てを支援します。</p>	<p>○</p>	<p>以下の職員を配置し保育しました。 0才児15名 担当保育士5名(内臨時保育士3名、補佐1名) 1才児21名 担当保育士5名(内臨時保育士2名) 2才児31名 担当保育士6名(内臨時保育士3名)</p> <p>*年間計画に基づく園内研修・園内公開保育・食育研修・その他専門性を高める研修会に積極的に参加し保育実践につなげる保育内容の創造に努めました。 *保育計画・食育計画のもとに、臨時職員と保育観を統一し、子ども一人ひとりの発達に配慮した保育環境を整え、保育の質を高めていきました。 *家庭訪問による個人懇談等を通して、園児一人ひとりの生活とその背景を把握し、保護者の思いに添いながら、育児支援に努めました。 *全職員での園内研修・新任保育士対象の同和問題研修などを実施し、人権感覚を高めるよう努めました。</p>	<p>*0才児の保育室を2部屋に分け月齢に配慮した保育をしました。 *低年齢児の入園に伴い、保育士(有資格者)の確保が課題です。 *年々乳児の入所が多いので、看護師の配置が望ましいと思われれます。 *保育の専門性を高める研修・資質向上の機会を作り、年齢別に臨時職員も含め子ども達の発達に配慮した研修を深めてきました。研修を積み重ねるだけに終わらず実践に移し、保育の質を高めるべくことが必要で、自己評価を基に保育内容の質を向上させることが課題です。 *保護者とのより良い関係作りをしていきながら、信頼関係を築き、育児に対する不安など、より適切な育児支援ができるような職員の対応が必要で。</p>
<p>あたご保育園 病児・病後児保育事業</p>	<p>*病気又は病気回復期の園児を保育(看護)することで、保護者の子育てと就労の両立を支援します。</p>	<p>◎</p>	<p>保育士11名を配置し、智頭病院小児科の受診で集団保育が適さないと診断された病児又は病気回復期の園児を保育(看護)しました。 *今年度、84日の開所で延べ人数130人の利用がありました。中でも低年齢の子どもの利用が多かったです。</p>	<p>*年間通して利用者が多く、その中でも未満児の利用が多かったです。専任の保育士だけで対応ができないう場合は他の職員で対応をしましたが、利用希望の多い日は対応し切れないう日もありました。</p>
<p>あたご保育園 一時預かり保育事業</p>	<p>未就園児を預かり、児童福祉の増進と子育ての支援を図ります。</p>	<p>◎</p>	<p>保育士11名を配置し、一時的に保育園に預けることを必要とされた未就園児を保育しました。 *今年度の登録人数16名、利用人数は19名。年間延べ利用人数は166名で0才児・1才児の利用が多く、特に夏季の利用が多かったです。</p>	<p>*年間通しての利用者があり、対応職員の配置に苦心しました。 *利用者が重複することもあり、調整が困難となり受け入れをお断りしなければならぬ実態もありました。</p>

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《小中学校教育の充実》</p> <p>智頭町学力向上推進事業</p>	<p>学校、家庭、地域や関係機関が連携連帯し児童生徒の指導にあたります。</p>	<p>◎</p>	<p>＊智頭町小学生英会話教室を開催し、国際感覚豊かな人材の育成や、土曜日における教育環境の充実をめざしています。地域人材を活用することで、4人のネイティブスピーカーと交流でき、教育効果があがっています。土曜日の過ごし方をアンケート調査したところ、スポーツ活動や習い事等に参加している児童の割合が以前より多いことがわかりました。</p> <p>＊授業力アップ研修会が現場教師には好評です。今年、広島県内小学校で実践している講師を招き、模擬授業をとおして智頭町が整備を進めているICT機器活用の具体的スキルを向上をめざしました。</p> <p>＊広島市、山口県岩国市、京都市の学校視察などで、智頭町が推進するICT機器活用や小中連携をとおした学力向上策が明らかになりました。小中学校教職員も自校でできる内容を工夫し、取り組んでいます。</p>	<p>＊土曜日の過ごし方が充実していない児童も一定数いるため、参加者を広げたいと思います。英会話教室を周知し参加児童増加に向けて、智頭小学校の児童集会で英会話教室の学習の様子を発表したり、次年度へ向けて体験レッスンを実施したりしました。</p> <p>＊智頭町独自である授業力アップ研修会により、教師の授業力向上と児童生徒の学力向上を図りたいと考えます。一流の専門家や現場での豊かな実践を持つ講師を招き、具体的指導が受けられる体制を続けたいと考えます。</p> <p>＊県外先進地への視察は、教師力を上げる上で不可欠と考えます。特に通常ならば全国的な情報から遠ざかりがちになる本町の教育現場において、新しい取り組みを肌で感じることは重要です。視察時期が研究会が実施される2学期以降となるため、次年度は視察時期を早め、授業実践の期間を増やしたいと思えます。</p>
<p>指導主事の設置</p>	<p>0歳から15歳を見通した教育の推進、小・中学校教育の充実、家庭教育の推進を図るため事務局に専門的な知識と技能を有する指導主事を設置し、学力指導も含めその推進・充実を図ります。</p>	<p>○</p>	<p>主に学力向上や生活習慣の改善、保小中連携を推進するため、各学校園、専門部会等での指導助言を行うとともに、幅広い分野で学校支援を行っています。小中学校教員がお互いの授業を公開、参観しあうなど、学力向上へ向けて小中学校の教員が一体となった取組が進んでいます。</p>	<p>＊保小中の連携や一貫した取り組み強化が求められています。智頭教育会との連携で、保小、小中の交流をさらに進めたいと考えます。</p> <p>＊「とつとりの授業改革【100の視点】」をもちに、学校での授業力向上を具体化し、恵まれたICT環境を生かしながら、小学校の学びを中学校につなげることで、児童生徒の学力が向上するよう努めたいと考えます。</p> <p>＊改訂智頭町教育ビジョンの内容を実施でき、学校現場でその周知をさらに図る段階をめざします。</p>

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
マイクロバス等管理事業	学校教育や各種団体活動への支援をします。	○	学校教育の支援と、教育関係団体の研修等への活用が増加するなど、効果が発揮できました。	*適切な維持管理を行い、幅広く活用できるようにしていきます。 *特に校外学習への活用が今後多くなります。 *学年の人数が多くなり、マイクロバス1台での運用が難しくなっています。
小学校管理事業	児童及び教職員の活動の場として学校施設の維持管理を行います。	○	*智頭小学校の施設の維持管理を行います。 *閉校となった旧校舎の最低限の維持に努めました。	*智頭小学校については教育施設としての機能を維持していきます。 *今後の旧校舎利活用を考慮し、維持管理します。
小学校教育振興事業	「生きる力」の育成と人間性を育む「心の教育」を行い、生活習慣の確立を図り、児童一人ひとりを大切にしました教育活動を行います。	○	通学費、修学旅行費などの補助や準要保護児童への援助を行い、保護者の負担軽減をおこないました。また、学習に必要な物品等の整備を行いました。	継続して、生活習慣の確立と学力の保障を行っていく必要があります。
特別支援教育総合推進事業	特別支援教育コーディネーターを配置し、支援の必要な児童生徒への早期の関わりにつなげる活動を行います。	◎	特別支援教育コーディネーターを配置し、この相談や保育園、小中学校の定期訪問とおし、支援の必要な児童生徒への早期の関わりにより、その後の学習や生活への適切な対応に結びつける活動を実施します。	専門知識を有する支援コーディネーターの活用により、保護者からの相談受け付けや情報提供がスムーズに行われています。現場の教職員の更なる資質向上に結びつく事業としたいと思います。
学習支援・生活支援員の設置	小学校の就学の際に、学習・生活に支援の必要な児童のため支援員を配置します。	◎	智頭小学校特別支援学級を中心に6名の支援員を配置し、学習支援の充実を図りました。通常学級での支援を要する児童にも、適切に対応することができました。	*通常学級も含め、支援が必要な児童が増加する傾向にあります。今後も支援の必要な状況を見極めながら、適切に対応するよう努めます。

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
創造的な学習支援事業	総合的な学習や体験的な学習の充実を図ることにより、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、進んで本町に関わる子どもを育てていきます。	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>*各地域の歴史文化をはじめとして特色を学び、郷土愛を醸成することができました。</li> <li>*地域内講師（ゲストティーチャー）による民芸や米作りなど独自の学習を実践しました。</li> <li>*地域の次代を担う子どもたちの育成が図られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*小学校では、地域の人材活用をさらに進めることで、新たな学校風土が築き上げられることが期待されます。</li> <li>*学校支援地域ボランティアの仕組みを活かし、学校と地域とがつながるよう支援していきます。</li> <li>*中学校では、キャリア教育との視点から、地域とつながりのある活動が引き続き行われます。</li> </ul>
小学校同和教育研究事業	差別に気づき、差別を見逃さない、差別に負けない、人の痛みをのわかる児童の育成と人権を尊重する教育の充実を図ります。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地区学習会を開催しました。</li> <li>*学習のみならず、生活習慣や差別のない社会を目指し、差別に負けない学習が展開されました。</li> <li>*同和問題のみならず、広く人権に関わる問題についても学んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地区学習会事業以外にも、総合的な学習や学校行事など、人権について学べる機会をさらに増やすようにしていきます。</li> </ul>
中学校管理事業	生徒及び教職員の活動の場として学校施設の維持管理を行います。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>新校舎が完成し、全面的な活用が始まりました。適切な管理により長期運用を目指します。</li> </ul>	

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>中学校教育振興事業</p>	<p>「生きる力」の育成と人間性を育む「心の教育」を行い、基礎基本を徹底させ、生徒一人ひとりを大切にしたい教育を行います。</p>	<p>○</p>	<p>*地域の講師を招聘し、茶華道の部活動の活性化を図りました。 *教育の機会均等を図るため、通学費、修学旅行費、特別支援学校への通学費等の支援制度で生徒と保護者負担の軽減を図っています。</p>	<p>*自立心と自律的な態度が育つように、生徒の実態に応じた効率的な教育活動を支援していきます。 *やさしさとたくましさ兼ね備えた生徒を育成するため、教職員の授業力の向上をめざします。</p>
<p>外国語指導助手招致事業</p>	<p>児童・生徒が生きた外国語に直接ふれることにより、興味と関心を持ち国際理解と学習意欲の向上につなげます。</p>	<p>◎</p>	<p>*中学校と小学校を担当するALTを配置しました。 *中学生においては、英語の授業をとおり、英会話を習得し、確実な英語力と、国際化時代に対応した異文化の知識も向上しました。 *小学生は、国際化時代に対応した外国語活動を実施しました。</p>	<p>*1名のALTにより、小学校と中学校との連携を図り、一貫した指導が可能になりつつあります。今後とも、児童生徒の英語力アップのための事業となるよう体制を整えたいと考えます。 *保育園への訪問も、計画的に実施したいと考えます。</p>
<p>心の教室相談員事業</p>	<p>生き生きと勉強や各種活動に取り組む生徒の育成と、生徒の問題行動解決につなげます。</p>	<p>○</p>	<p>*生徒の問題行動やストレス、不安を解消するため相談員を配置し、生徒の心の安らぎがもたらされるようにしています。 *不登校生徒への支援も行き、状況の改善も見られました。</p>	<p>*相談員が関わることで、登校につながる生徒がいます。不登校の一助となるよう、今後も引き続き配置していくこととし、スクールカウンセラーなどと連携し、家庭とのかわりにも期待されます。</p>

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
地域に学ぶワクワクちづ事業	職場体験活動を通して地域社会に学び自らの進路について主体的に考える人間形成の場とします。	◎	2年生が3日間にわたり町内の事業所で職場体験を行いました。仕事の厳しさや、将来の夢を見つめる機会となり、キャリア教育の推進となりました。	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*協力していただける事業所の確保を今後も進めていきます。</li> <li>*キャリア教育の視点から将来の夢や希望となるよう実施前後での十分な準備と生かされる方を工夫します。</li> </ul>
中学校同和教育研究事業	差別に気付き、差別に負けない、人の痛みをわかる生徒の育成と人権を尊重する教育の充実を図ります。	○	生徒の身の回りの生活改善はもとより、差別のない社会の実現を図るため、学習に加えて基本的な生活習慣確立や人権問題を考える機会となっております。	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <p>小学校での学びの上に立ち、中学校での人権学習での学びが、生徒の生きる力となるよう、また日常生活の中で実践化されるよう支援していきます。</p>

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
《社会教育の充実》 社会教育委員	社会教育の振興を図るために社会教育委員協議会を開催します。	△	*県の実施する研修会へ委員が積極的に参加しました。	委員会としての活動としてはありませんが、各委員の活動をとおして社会教育の活性化を図ることを共通認識しています。 未開催であった委員会を今後開催していく必要があります。
文化財保護事業	町内文化財の調査・研究を通じて、町内に点在する文化財の掘り起こしと保護と活用を図ります。	△	*町内文化財の掘り起こしと調査研究を行いました。	無形文化財の掘り起こしも地域と連携して進めたいと考えます。 未開催であった審議会を今後開催していく必要があります。
文化振興事業	町民の文化意識の高揚と地域文化の振興を図るため、文化協会の並びに協会加盟団体の活動支援と智頭町文化祭など各種文化事業を推進します。	○	*智頭町文化祭 延べ来場者数454人 内訳：展示の部 10/24(土)・25(日) 260人 前夜祭ライブ 11/8(土) 20人 芸能の部 11/9(日) 174人  *第18回ふれあいコンサート7/26(日) 229人	*町内文化事業の担い手の高齢化が進み、熟練の域にある一方、若年世代の参加・継承等が課題です。 *文化祭は智頭町文化協会に委託。文化祭のあり方を再検討し、町民への作品展示・芸能発表はもとより、他団体の作品・芸能の認め合いが必要です。 *ふれあいコンサートは文化協会の補助事業です。良質なクラシック音楽を町民に提供する趣旨を再確認することが必要です。
町成人式	町の将来を担う新成人者を町を挙げて祝福し、成人の自覚と町への愛着を醸成します。	○	新成人等で構成した実行委員の企画による「智頭町成人式」を開催しました。式典終了後に実行委員(新成人)の進行で祝賀会を開催し、なごやかな雰囲気での会となりました。H28年1月10日開催…当日参加者数66人、内在成人者数57人(外国人登録者含む)	新成人自らの企画を取り入れた成人式を今後も継続しつつ、成人者としての自覚を持てる企画を来年度に向けて検討します。
社会教育事業 (婦人団体・青少年の育成)	婦人団体の活動支援と青少年育成推進協議会を通じた育成事業などを実施し、青少年の健全な育成を推進します。	○	智頭町青少年育成推進指導員協議会(15人)の委託事業と給食センター共催による事業等を実施しました。サマーキャンプ(吉備青少年自然の家)49人、夏・冬子どもおやつ作り教室(ほのぼの)40人、チャレンジ教室(智頭町総合センター)26人、新春書き初め大会31人参加	杉の子塾を含めた町内の青少年育成団体との事業連携を図ります。



平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
家庭教育学級事業	社会環境の変化により地域のつながりが希薄となり、家庭・地域の教育力が低下する中で、国の支援事業を活用して家庭教育の学習機会を提供します。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「機関紙ひだまり」を作成し、テーマ等を変えながら保・小・中学校の各家庭に配布しました。</li> <li>* 「ノーテレビデー」(1月)のチラシを作成し配布しました。</li> <li>* 関係機関で参観日等を活用し、家庭教育学級(PTA研修会等3回)を開催しました。</li> </ul>	家庭教育については、保護者への粘り強い啓発が必要で、特に講演会・研修会等へ参加しない人への働きかけが課題となっています。
遺跡発掘事業	埋蔵文化財の保護と智頭枕田遺跡の調査・研究・活用を行います。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 町内開発計画への対応を行いました。</li> <li>* 土器づくり教室・文化祭への展示、土師公民館祭への出店を行いました、町民理解に努めました。</li> </ul>	先人の記録である「遺跡」の価値を現在の智頭町民に正しく伝えるために、研究(ハード)と展示や体験などの活用(ソフト)をバランス良く行っていくことが重要です。
生涯学習講座	自主的な学びの場、町民の交流の場、生き甲斐づくりの場としての受け皿となる多様な分野の生涯学習講座を開催します。3年間の講座を経て、自主運営サークルへの発展を目指します。 [平成27年度 生涯学習講座] ハーブ&アロマセラピー(2年目) 珈琲講座(初年度)	○	<p>【生涯学習講座】実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハーブ&amp;アロマセラピー(9回開講) 受講者数7人</li> <li>・珈琲講座(5回/1) 受講者数13人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 各講座(智頭学を除く)で3年間続ける受講生の割合にバラつきがあり、さらに開講回数が多い講座は、年間の出席率にも大きなバラつきがあります。3年間を通じて続けられる講座開催が必要です。</li> <li>* 3年で終了を迎えた講座がその後、いかに自立したサークルとして定着するかという課題もあります。</li> </ul> <p>【近年自立し、現在も活動しているサークル】            ガーディング教室(H17~19)            和紙折り紙教室(H17~19)            マジッククラブ(H18~20)            絵手紙(H23~25)</p>

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
高年齢教育事業	高年齢者が様々な分野の学習活動を通して楽しみながら知識を身に付け、生き甲斐のある充実した生活を送ることをねらいとした牛臥大学を開設します。またアンケート等を実施し受講者ニーズの把握に努めます。6月開講 10回開催	○	6月～3月開講 ・受講申込者数64人 ・講座開催10回	*高年齢者が楽しみながら自発的に学習する事業の趣旨に沿って、運営委員会で学習内容や受講生募集について検討が必要です。 *運営委員会は各地区者人クラブ会長で構成されており、機能強化を図る必要があります。
地区公民館事業	地域における生涯学習・文化・スポーツ活動等の地域活動拠点施設として、住民主体の地域づくり運動の充実を目指します。	○	地区公民館活動の運営を委託しました。 委託料4,996千円 総事業費26,735千円	*施設営繕が緊急の課題である。雨漏りなどによる漏電、火災発生が懸念される。 *中央公民館との連携、地区振興協議会との協働を通じて、幅広い社会教育活動の展開が求められている。
歴史の道整備活用推進事業	平成8年に文化庁から「歴史の道百選」に選定された智頭往來を整備すると共に保存・活用します。	○	志戸坂峠の災害復旧工事をしました。 総事業費17,209千円	*整備計画を見直し、国史跡として全線指定されるよう努めます。 *国史跡指定を契機に、観光交流の視点でも活用することが必要です。 *岡山県西粟倉村との連携が必要と考えます。
板井原集落整備活用推進事業	板井原集落を「伝統的建造物群保存地区」（鳥取県選定）として保存計画に基づいた修理事業と活用事業を行い、国の選定を目指します。	△	集落内建築物1棟の改修を助成し、景観保全を図りました	継続的に集落の景観保全を図るとともに、集落保存協議会と連携した地域振興事業を行う必要があります。特に開発事業との調整は今後とも注意を払う必要があります。

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
石谷邸保存活用整備事業	因幡街道ふるさと振興財団へ指定管理委託し、文化財としての観光拠点施設として管理運営を行います。	○	<p>石谷家住宅の管理運営を引き続き財団法人因幡街道ふるさと振興財団へ指定管理委託しています。</p> <p>委託料 9,246千円 入館者実績 H27・27,160人 *県指定名勝である石谷氏庭園の維持管理を行いながら、年2回の庭園特別公開を通じて情報発信に努めました。</p>	<p>智頭宿のまちづくり拠点施設として積極的に関わる必要です。</p> <p>*平成13年の一般公開から随所に補修箇所が見られることから、計画的な維持管理が必要です。</p>
《社会体育の充実》 スポーツ推進委員	各地区から選出された18名で構成されるスポーツ推進委員により、町民体力づくり事業の普及・振興と町体育事業への参画及び推進委員としての資質向上のための県内体育事業等へ参加します。	○	<p>*中国地区スポーツ推進委員研究大会に13名参加しました。(開催：鳥取)</p> <p>*上記の他、智頭町体育協会、スポねっとちづの主催する事業、また民泊マラソンにも役員として参画しています。</p>	<p>*町の体育事業への参加はもちろんです。スポーツ推進委員としての具体的な活動内容を考え、自発的に体育振興の充実を図る主体となることが求められます。</p> <p>*スポーツ推進委員としての役割を明確化し、共有すること、目指すビジョンを明らかにする必要があります。</p>
体育振興事業	智頭町体育協会を中心に町民の健康づくりや生涯スポーツ活動に寄与する体育事業を展開します。またスポねっとちづは、運動能力の向上や仲間づくり、他者への思いやりの心を育むことを目標にスポーツ普及を推進します。	○	<p>*体育協会への活動支援による各種スポーツ大会等を実施しました。(町民体育祭、ハレーボール大会、クランドゴルフ大会等) 団体数：8</p> <p>*総合型地域スポーツクラブ”スポねっとちづ”への活動支援によるスポーツ環境の整備拡充を図りました。(クラブ数：10) 会員数：170名</p> <p>*SWAC大阪から講師を招き、陸上教室を開催しました。(参加者：100名)</p> <p>*トップアスリート育成支援事業奨励金を、6件7名に交付しました。</p>	<p>*体育振興をより活性化させるため、町内の体育関係団体の連携を密にし、それぞれが協力をしあって活動する必要があります。</p>
体育施設管理事業	スポーツ活動や健康づくりの場となる体育施設の適正な管理と環境整備を進めます。	○	<p>*各体育施設の維持管理を行っています。</p> <p>*智頭温水プールの管理運営を(株)エヌ・エス・アイへ指定管理委託しています。</p> <p>委託料 18,702千円</p> <p>*智頭温水プールの断熱改修工事、勤労者体育センターの外壁改修工事、旧山形小学校体育館の屋根改修工事など、修繕事業を行いました。</p>	<p>*町の中核体育館として、勤労者体育館を様々な年代、性別、障がいの有無にかかわらず使用していただけるよくな体育館として整備を進めることが必要です。</p>

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《図書館事業》</p> <p>図 書 館</p>	<p>図書館サービスを充実させ、個人の利用を増やします。また、保育園や学校へのサービスにも努力します。</p> <p>目標…貸出冊数48,000冊。</p>	<p>◎</p>	<p>カウンター業務を中心にしながら、保育園図書室、学校図書館等を支援しています。その取り組みが認められ、平成27年度の子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞しました。</p> <p>利用登録者数…個人3,778名(新規157名)、団体158団体</p> <p>貸出冊数…50,567冊(個人36,388冊、団体14,179冊)</p> <p>リクエスト件数…5,232件</p> <p>レファレンス件数…524件</p> <p>学校図書館・保育園支援回数…延べ198回</p>	<p>*貸出冊数が昨年度より5800冊程度増加し、リクエスト件数、レファレンス件数も増加しているため、現在の人員でサービスをどう維持していくかが課題です。</p> <p>*学校図書館や保育園図書室の整備により、公共図書館でも児童の利用が増えています。今後更に同時に来館する家族の利用を上げていきます。</p>
<p>おはなし会事業</p>	<p>読書への入り口として、幅広く参加してもらえようなおはなし会を開催します。</p> <p>目標…参加人数800人</p>	<p>◎</p>	<p>子育て支援センターとの共催や小学校へ出張、また季節のおはなし会等を実施しました。</p> <p>実施回数…子育て支援センターとの共催12回、季節のおはなし会4回、出張おはなし会28回</p> <p>参加人数…子育て支援センターとの共催235人、季節のおはなし会67人、出張おはなし会658人</p> <p>合計960人</p>	<p>*おはなし会の参加人数は昨年度より増加していますが、家庭での読みかせや読書活動につながる取り組みになっていくかが課題です。</p> <p>*学校でのおはなし会では、ブックトークなど、読書意欲の育成に効果のある内容に取り組んでいきます。</p>
<p>ブックスタート</p>	<p>ブックスタートが家庭での読みかせにつながるように、啓発を工夫していきます。</p>	<p>○</p>	<p>*対象者に絵本を手渡し、読みかせやわらべうたでふれあいの時間を持つよう奨めています。対象者…42名</p> <p>*フォロー事業として実施しているおはなし会は、子育て支援センターとの協力で月1回行っています。毎回好評です。</p>	<p>若い保護者に、乳幼児に対するメディアの影響やわらべうたの効用など伝え、子どもとともに絵本に出会えるような講座の開催に取り組みます。</p>

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>子どもと本を知る講座</p>	<p>子どもに関わる全ての大人に、子どもと本に対する関心や知識を深め、読書の意義を理解していただきます。 目標…講座参加人数100人</p>	<p>○</p>	<p>子どもを取りまわく大人が子どもや子どもの読書の意義を理解したり、日本の文化や言葉の大切さを体感したりして、読書へとつなげる講座を開催しました。 講座回数…3回、参加人数…174人</p>	<p>*学校の参観日の研修などと連携し、ふだん忙しい子育て世代が参加しやすいように、学校教育担当者や家庭教育担当者との協体制を深めていきます。 *保護者の読書や図書館への関心を高める目的で実施しています。対象は子どもと入れ替わっていただくため、継続した取り組みが必要で。 *今回くわらべうたの講座を高齢者サーブিসと協働して実施し、高齢者の健康長寿を応援することにも取り組みましたが、幅広い年代でわらべうたを活用してもらええる事業を計画します。</p>
<p>図書館まつり事業</p>	<p>図書館を身近に感じ、親しみを持ってもらうことを目的に開催します。</p>	<p>○</p>	<p>*子ども司書体験教室を実施しました。 参加人数… 12名 *図書館スタンプラリーを実施しました。 参加人数…250人 *図書館まつり2015で、「秋のおはなし会」「ブックリサイクル」「本のリサイクル市」「木のおもちゃ」コーナー設置しました。 参加人数…のべ100人</p>	<p>*図書館スタンプラリーは子どもだけでなく、大人の利用者にも好評で、次年度の実施について要望がありました。 *次年度も子ども向けの事業と大人向けの事業をそれぞれ企画していきます。</p>

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>あたまイキイキ音読教室 音読出前講座</p>	<p>高齢社会の中で、住民の「健康長寿」を応援することとを目的に、図書館や地域で音読事業を実施する。</p>	◎	<p>*あたまイキイキ音読教室 開催12回 参加人数のべ114人 *音読出前講座 開催11回 参加人数のべ160人</p>	<p>*図書館主催の音読教室は毎回10名前後の参加者があり、定着しています。 *地域からの出前講座も申込が相次ぎ、2回目の申込をされる団体も出てきていますので、ポランティアスタッフなどの養成が必要です。</p>
<p>連携講座・講演事業</p>	<p>他の機関と連携し、講座・講演会を企画し開催します。</p>	○	<p>*再就職支援講座（ハローワーク八頭）4人 *牛臥大学（中央公民館）32人 テーマ：おかげさまで支え愛 ～老いを笑顔で過ごすために～ 講師：山田節子氏（鳥取西キヤバラバンメイト会長・鳥取県読書アドバイザー）</p>	<p>*他の機関との連携により、新たな利用者の開拓や、図書館への理解に繋がっていますので、今後も連携の対象を拡げていきます。</p>
<p>昔話伝承事業</p>	<p>智頭の昔話を保存し継承していくために、昔話に親しみ、関心を深めるよう事業を実施します。</p>	○	<p>*冬のおおはなし会を「昔ばなしのへや」と題して、鳥取市の中嶋須美子氏と智頭町の赤堀澄江氏に昔話を語っていただきました。 参加人数・19人</p>	<p>*音読教室や音読講座を通じて、宣伝に つとめた結果、大人の参加が増えました。今後は町内で、昔話を伝えるポランティアを養成していく必要があります。</p>

平成27年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成27年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性																								
<p>《学校給食事業》</p> <p>学校給食</p>	<p>学校給食は教育の一環であり、食事マナ、健康増進、地産地消、食文化の理解など、生涯を通じて健康であり続けるための「食」の基礎を身につけます。</p>		<p>衛生管理に努め、栄養バランスのとれた、安全で安心なおいしい給食を提供しました。</p> <p>小学校 55,702食 中学校 31,062食</p> <p>*学校給食食材の県内産地産地消率は85%となり、今後高水準の維持を目指し、地元食材グループ、JAいなば智頭支店と連携を密にしながら地産地消を推進します。</p> <table border="1"> <tr> <td>H22年度</td> <td>49%</td> <td>H23年度</td> <td>61%</td> </tr> <tr> <td>H24年度</td> <td>77%</td> <td>H25年度</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>H26年度</td> <td>68%</td> <td>H27年度</td> <td>85%</td> </tr> </table> <p>*学校給食費の徴収を給食協議会と連携することで、未納はありませんでした。</p> <p>*栄養士食育活動より子どもたちへの食育指導は大幅に充実し、子どもたちだけでなく職員、保護者を含め給食時間、T・T授業、個別栄養相談、クラブ活動など学校全体で食への関心が高まってきました。</p> <table border="1"> <tr> <td>H22年度</td> <td>190回</td> <td>H23年度</td> <td>188回</td> </tr> <tr> <td>H24年度</td> <td>136回</td> <td>H25年度</td> <td>162回</td> </tr> <tr> <td>H26年度</td> <td>123回</td> <td>H27年度</td> <td>128回</td> </tr> </table> <p>*生産者と児童との交流給食の実施</p>	H22年度	49%	H23年度	61%	H24年度	77%	H25年度	73%	H26年度	68%	H27年度	85%	H22年度	190回	H23年度	188回	H24年度	136回	H25年度	162回	H26年度	123回	H27年度	128回	<p>*食材グループ、JAいなば智頭支店の関係者に作付け予定品目と収穫時期などの調査を行い、地元食材の活用を行ったが、さらに品質の高い農作物生産に向けて、関係者との連携が必要であると考えます。</p>
H22年度	49%	H23年度	61%																									
H24年度	77%	H25年度	73%																									
H26年度	68%	H27年度	85%																									
H22年度	190回	H23年度	188回																									
H24年度	136回	H25年度	162回																									
H26年度	123回	H27年度	128回																									
<p>食育推進事業</p>	<p>学校給食センターが、町の食育推進の核として食育の研究、住民への啓発を行ないます。</p>		<p>*学校給食週間（1月）に給食展を開催、住民への啓発を図りました。</p> <p>*児童生徒、家庭の食への関心、知識を高めるため食育を積極的に推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育だより「きゅうちゃん ぼこちゃん」の発行</li> <li>・きゅうちゃんの町ホームページ掲載</li> <li>・中学生ワクワクちづの受け入れ</li> <li>・おやつ料理教室の開催</li> <li>・八頭郡食育だより「すくうるらんち」の発行</li> <li>・小学校、中学校保護者試食会における栄養士の講話</li> <li>・我が家の自慢料理募集</li> </ul>	<p>給食展等への理解、啓発も徐々に図られており、更に住民への浸透を図るよう検討を進めていきます。</p>																								

### 3. 教育委員会の活動状況

#### 教育委員の在任状況

(平成28年3月31日現在)

役職	氏名	在任期間	備考
委員長	酒本弘道	平成25年10月1日～平成29年9月30日 委員長：任期 平成27年10月1日～平成28年9月30日	再任
委員長 職務代行者	伊藤學	平成23年10月1日～平成27年9月30日 委員長職務代行：任期 平成26年10月1日～平成27年9月30日	辞職
委員長 職務代行者	米井照世	平成26年10月1日～平成30年9月30日 委員長職務代行：任期 平成27年10月1日～平成28年9月30日	
委員	平井早苗	平成24年10月1日～平成28年9月30日	
委員	徳永起宏	平成27年10月1日～平成31年9月30日	新任
教育長	長石彰祐	平成26年6月21日～平成29年3月31日	

#### 1) 委員の異動

- 平成27年9月30日をもって伊藤學委員が任期満了となり、平成27年10月1日に徳永起宏委員が選任（新任）されました。

#### 2) 委員長等の異動

- 平成27年9月30日をもって伊藤學委員が任期満了となり、平成27年10月1日に米井照世委員が教育委員長職務代行者として選任（新任）されました。



## 平成27年度教育委員会の会議の状況（概要）

- ・教育委員会 定例会 12回 臨時会 1回
  - ・議案 22本 報告事項 53本 協議 5本
- ・学校・保育園訪問 7回
  - ・定例委員会と同日実施
- ・委員研修会 1回
  - ・鳥取県市町村教育委員研修会 倉吉市
- ・その他
  - ・保育園・小学校・中学校入学卒業式
  - ・智頭教育会出席
  - ・智頭町保小中高PTA連合会との意見交換会
  - ・各小中学校および各地区公民館運動会の視察
  - ・中学校竣工式

#### 4. 附属機関の開催状況

##### 教育委員会附属機関会議の開催状況

・智頭町社会教育委員協議会	0 回
・智頭町文化財保護審議会	0 回
・智頭町伝統的建造物群保存地区保存審議会	0 回
・智頭町スポーツ推進委員協議会	12 回
・智頭町青少年育成懇談会	0 回
・智頭町青少年育成指導員協議会	5 回
・智頭町立智頭図書館協議会	2 回
・智頭町学校給食センター運営委員会	1 回
・智頭町図書館づくり検討委員会	6 回

・智頭町学校給食センター運営委員会

開 催 平成28年3月29日

議 題 役員の選出について

平成27年度学校給食の実施状況について

平成28年度学校給食費及び食数について

資 料 編

(資料) 平成27年度教育委員会の会議の状況 (詳細)

4月定例委員会 (4月21日)

議案 (2)

- ・ 智頭町立小・中学校主任等の任命について
- ・ 智頭町延長保育事業実施要項の一部改正について

報告 (4)

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館について
- ・ サドベリーの状況について

協議 (0)

5月定例委員会 (5月27日)

議案 (2)

- ・ 智頭町図書館連絡協議会設置要綱の一部改正について
- ・ 智頭町立智頭図書館管理運営規則の一部改正について

報告 (3)

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館について

協議 (0)

6月定例委員会 (6月30日)

議案 (3)

- ・ 智頭町立学校給食センター運営委員の委嘱について
- ・ 智頭町立学校給食センター監査委員の選任について
- ・ 智頭町文化的景観保存活用委員会規則の制定について

報告 (4)

- ・ 鳥取県市町村教育委員会研究協議会の今後について
- ・ 学校教育について

- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館について

#### 協議 (0)

#### 7月定例委員会 (7月29日)

##### 議案 (3)

- ・ 平成27年度準要保護児童生徒の追加認定について
- ・ 平成28年度から使用する中学校教科用図書採択について
- ・ 平成28年度に使用する小学校教科用図書(一般図書)の採択について

##### 報告 (5)

- ・ 智頭町トップアスリート支援事業補助金要綱について
- ・ 学校教育について
- ・ 中学校改築事業臨時駐車場賃借物件使用妨害のための損害について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館について

#### 協議 (0)

#### 8月定例委員会 (8月24日)

##### 議案 (0)

##### 報告 (6)

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 民泊マラソンについて
- ・ 中学校運動会について
- ・ 各地区運動会について
- ・ 図書館について

#### 協議 (0)

#### 9月定例委員会 (9月10日)

##### 議案 (1)

- ・ 智頭町トップアスリート育成支援事業奨励金交付要綱の制定について

報告 (3)

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館事業について

協議 (0)

9月臨時委員会 (9月30日)

議案 (0)

報告 (0)

協議 (3)

- ・ 智頭町教育委員の任命について
- ・ 教育委員長の選任について
- ・ 職務代理の氏名について

10月定例委員会 (10月30日)

議案 (0)

報告 (5)

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ 図書館づくり検討委員会報告書について
- ・ 智頭町文化的景観保存事業について

協議 (0)

11月定例委員会 (11月24日)

議案 (0)

報告 (3)

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について

- ・ 図書館事業について

協議（２）

- ・ 保育園一園化に向けた内容について
- ・ 総合教育会議について

12月定例会（12月9日）

議案（0）

報告（4）

- ・ 学校教育について
- ・ 新田サドベリースクールについて
- ・ 社会教育事業について
- ・ 図書館事業について

協議（0）

町小中高PTA連合会「教育を語る会」（12月9日）

1月定例委員会（1月22日）

議案（0）

報告（6）

- ・ 学校教育について
- ・ 新田サドベリースクールについて
- ・ 社会教育事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ 給食展の開催について
- ・ 保育園建設事業について

協議（0）

2月定例委員会（2月17日）

議案（8）

- ・ 智頭町いじめ問題調査委員会等設置条例の制定について

- ・ 智頭町いじめ問題調査委員会設置規則の制定について
- ・ 智頭町就学援助費事務取扱要領の制定について
- ・ 平成27年度準要保護児童生徒の追加認定について
- ・ 平成28年度準要保護児童生徒の認定について
- ・ 智頭町立智頭図書館管理運営規則の一部改正について
- ・ 智頭町立智頭図書館処務規定の一部改正について
- ・ 智頭町立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部改正について

#### 報告（5）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ サドベリースクールについて
- ・ 保育園建設事業について

#### 協議（0）

### 3月定例委員会（3月16日）

#### 議案（3）

- ・ 平成27年度末教職員人事異動表について
- ・ 平成27年度智頭町教育委員会表彰者の認定について
- ・ 智頭町立智頭図書館管理運営規則の一部改正について

#### 報告（5）

- ・ 学校教育について
- ・ 平成27年度鳥取県食育推進活動知事表彰について
- ・ サドベリースクールについて
- ・ 社会教育事業について
- ・ 図書館事業について

#### 協議（0）



(資料)

## 教育委員会事務局主管の委員会の開催状況（詳細）

### \*智頭町スポーツ推進委員協議会（12回）

開 催 H.27年 4/14、5/13、6/3、7/8、8/5、9/2、10/7、11/4、12/2

H.28年 1/9、2/3、3/2

議 題 ・各種事業打合せ及び事後協議

### \*智頭町青少年育成指導員協議会（11回）

開 催 H.27年 4/9、6/30、7/24、10/30 H.28年 2/27

議 題 ・各種事業打合せ及び事後協議

### \*智頭町立智頭図書館協議会（2回）

開 催 平成27年11月26日（木）

説 明 平成27年度智頭町立智頭図書館運営について  
子どもの読書活動推進計画について

議 事 委員長・副委員長の選出について  
図書館運営と図書館の環境整備について

開 催 平成28年3月17日（木）

議 事 平成27年度図書館事業報告について  
平成28年度図書館事業予定について

### \*智頭町学校給食センター運営委員会（1回）

開 催 平成28年3月29日

議 題 役員の選出について  
平成27年度学校給食の実施状況について  
平成28年度学校給食費及び食数について